

を嚙んだり、足の裏の汗が臭いなどがあります。果物は嫌いです。冷え性で、冷たい空気にとっても敏感です。

AFFINITY

Baryta carbonicaは、主に成長や栄養面、動脈硬化による高血圧、リンパ系、腺組織、心臓、肺、神経、精神への親和性があります。とくに成長や精神発達が遅れている子供と、子供じみた行動をとる高齢者に好んで使われます。

CLINICAL APPLICATIONS

■精神

- ・ **身体的、精神的な成長遅延**：言葉を発するのが遅かったり、歩き始めが遅いなど。体の各部位のバランスが均等に成長していない例もあり、頭が大きめで背が低いこともよくあります。また、生殖器の未発達が目立ちます。
- ・ 知能障害：自分の知能が劣っていることを知っていて、自分に自信がありません。
- ・ 抗精神病薬の乱用による精神的鈍麻
- ・ 片側不全麻痺：頭部外傷後に起こります。
- ・ 高齢者の痴呆症状：幼稚な言動をとるようになります。
- ・ 不安症

■腺

- ・ 扁桃腺の肥大：炎症を起こして痛みがあり、とくに飲み込むときに焼けるような痛みがあります。
- ・ 頸部リンパ節腫脹
- ・ 前立腺肥大、前立腺炎
- ・ ホジキン病

■老化現象の予防

- ・ 老人性痴呆症
- ・ 初期のアルツハイマー病

- ・ 動脈硬化による高血圧症
- ・ 早期の老衰
- ・ 勃起不全：性欲の喪失、性交の最中にでも眠くなってしまうことがあります。

■その他

- ・ 鼻感冒：上唇と鼻が腫れることがあります。
- ・ 脂肪腫
- ・ 風邪を引きやすい体質
- ・ 脱毛：若年性
- ・ 遺尿症

MODALITY

- 外を歩くこと、おくび、暖かく包まれること、病気のことを忘れているとき、冷たい食べ物、1人になることなど
- ❏ わずかな寒さ、湿気、自分の病気について考え込むこと、冷氣、頭と足を冷やすこと、太陽の熱、匂い、温かい食物、腕を上を上げること、患部を下にして寝ること、左下に寝ること、食後など
その状態がより古いものほど、より高めのポテンシーを使用します。

RELATIONS

- ・ Antidoted by：Antimonium tartaricum, Belladonna, Camphora, Dulcamara, Mercurius, Zincum metaricum
- ・ Compatible：Sqilla, Arsenicum album, Sulphur
- ・ Complementary：Dulcamara, Silica, Psorinum

●主なBarytaのレメディ

Baryta acetica (CH_3CO_2)₂Ba, Baryta carbonica BaCO_3 , Baryta iodata BaI_2 , Baryta muriatica $\text{BaCl}_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$, Baryta phosphorica BaHO_4P ,

Belladonna ベラドンナ [急性、発熱、高熱、乾燥、幻覚]

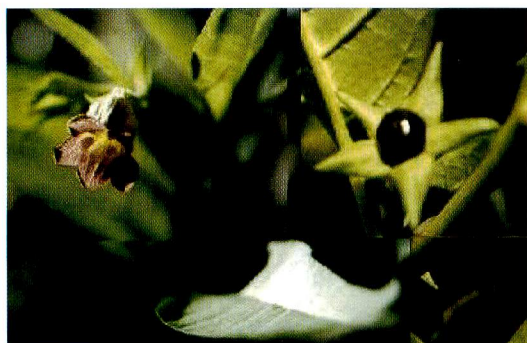
Atropa belladonna L.

Atropa lethalis, Belladonna baccifera, Belladonna trichotoma, Solanum fluriosum, Solanum hortense

BACK GROUND

Belladonnaは、ヨーロッパの南西部から西アジア原産で、湿地に自生するナス科の多年生植物です。草丈80～180cmで、森や茂みなどの日陰を好み、乾燥

に弱い性質をもっています。大きな卵型の葉で、夏には鐘形の花を夜に咲かせ、暗紫色または赤紫色の花筒は先端が5つに裂けて尖り、5個の緑色の萼にかこまれています。果実は1個の液果で、熟すにつれて緑か



(I)

ら紫、黒へと変化していきます。根は太く肉質で、帯白色で長く分枝しています。

一般名は、Belladonna, Devil's Cherries, Naughty Man's Cherries, Divale, Black Cherry, Devil's Herb, Great Morel, Dwayberryなどと呼ばれています。

他のナス科の代表的なレメディには、Capsicum, Duboisinum, Dulcamara, Hyoscyamus niger, Lycopersicum, Mandragora, Physalis alkekengi, Solanum arrebenta, Solanum carolinense, Solanum integri, Solanum mammosum, Solanum nigrum, Solanum oleraceum, Solanum pseudocapsicum, Solanum torvum, Solanum tuberosum aegrotans, Solanum tuberosum, Solanum xanthocarpus, Solanum aceticum, Stramonium, Tabacumなどがあります。

ルネサンスの時代、イタリアの女性たちは瞳を大きくきれいにさせるために、ベラドンナから抽出したエキスを目薬として使っていました。この植物の主成分の1つであるアトロピンの副交感神経遮断効果により、瞳孔を散大させた結果です。植物名のベラドンナは、この bella donna=beautiful lady 美しい女性に由来しています。最近の心理学の分野でも、瞳孔の開いた女性のほうがより魅力的に見えるという研究報告があります。

学名 *Atropa belladonna* の *Atropa* は、ギリシア神話で死の瞬間に運命の糸を断ち切る女神、アトロポス (*Atropos*) にちなんでいます。これは、ベラドンナを多用して多くの女性が死んだためと言われています。またこの植物は、中世の魔女が治療やその他の目的でトランス状態になるために使用されていました。

日本では1826年、眼科医の土生玄碩が、江戸に滞在していたシーボルト (P.F.von Siebold) に瞳孔を広げる薬 (ベラドンナ) の分与を願い出た際に、シーボルトは日本にある同属のハシリドコロの存在を教えました。そのためベラドンナは、セイヨウハシリドコロ

と呼ばれています。

この植物に含まれている有効成分には、トロパネ系アルカロイド化合物であるヒヨスチアミン、アトロピン、スコポラミンのほか、ベラドンナイン、アトロパミン、アトロシン、スターチなども含まれています。

Belladonna の毒性は、主に粘膜、心血管系、中枢および末梢神経系に作用します。

■粘膜

- ・消化器系：唾液分泌が止まり、口の中が乾燥します。喉も乾燥し、嚥下障害を引き起こします。
- ・感覚器系：耳の鼓膜の充血が起こります。眼の涙の分泌量も減少します。結膜角膜が乾燥します。
- ・呼吸器系：鼻粘膜と気道粘膜が乾燥し、乾性の痛みを伴う咳が出ます。

■心血管系：充血と血圧の上昇が起こります。

- ・充血と高血圧により、顔が紅潮し、めまいがして、充血性のズキズキする頭痛で、眼も充血します。
- ・頰脈になり、動悸が激しく、動脈がドクドクしているのが感じられます。

■神経系

- ・感覚過敏：光に敏感になり、光線恐怖症になることもあります。寒さや物音、衝撃に対して非常に過敏に反応するようになります。内臓の痙攣発作も起こります。熱が出てくると、幻覚を伴う精神錯乱状態になっていきます。犬を怖がるようになります。高いところから落ちる幻覚もあります。とくに眠くなると幻覚がひどくなります。瞳孔は散大し、興奮状態や落ち込んだ状態が交互に現れ、運動失調になり、痙攣、失神を起こします。記憶喪失にもなることがあります。熱が突然出て、多量に発汗します。

MATERIAL

開花期に採取した全草

FIRST PROVING

ハーネマン (『Fragmenta de Viribus Medicamentorum Positivis, Materia Medica Pura』第1巻、最終版)

AFFINITY

Belladonna は、主に神経系、血管、毛細血管、粘膜組織 (とくに眼、喉、口腔)、皮膚などに親和性があります。右側優勢レメディです。

CLINICAL APPLICATIONS

主な臨床適用は、次のようなものがあります。*Belladonna* の症状は、突然始まります。

■**熱性疾患**：赤く熱くズキズキするのが特徴です。

- ・**すべての急性の発熱**：全体的に午後3時に悪化しますが、発熱のピークは午後9時や午前8時になる傾向があります。
- ・急性の炎症と充血
- ・あらゆる感染症による発熱
- ・熱性痙攣、小発作
- ・熱射病、日射病
- ・高熱中の幻覚：怖いものを見ますので、逃げようとする場合があります。
- ・昏睡

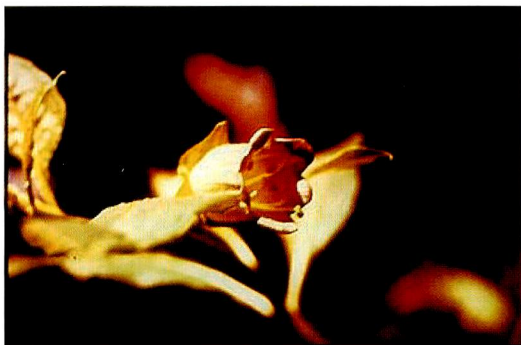
■**頭部**

- ・**頭痛、片頭痛**：右側の頭痛。しばしば後頭部からズキズキする痛みが始まり、右のこめかみや前頭部に広がっていきます。午後3時にピークになります。冷湿布や暗い部屋で休むと楽になります。光や騒音、運動、太陽、生理などで悪化します。手足は冷たいのに顔は熱いことがあります。頭痛のときにレモネードを欲しがることがあります。
- ・めまい：頭を動かすと悪化します。寝返りをうったり、体を前のめりに倒しても悪化します。左側や後ろに倒れそうになります。
- ・メニエール症候群
- ・光線恐怖症、恐水症：とくに発熱中
- ・中耳炎：右側。ズキズキするひどい痛みがあり、夜に悪化します。鼓膜は、赤く腫れていることがあります。難聴を伴うことがあります。
- ・急性化膿性扁桃炎：喉は熱く乾燥します。
- ・歯生時のひきつけ
- ・初発白内障

- 消化器系**：レモンやレモネードなど酸っぱいものも好きです。魚や脂肪身、果物、豆類、牛乳などを嫌います。喉はあまり渴きませんが、ときに冷たい水を多量に欲しがることがあります。一般的に食欲はありませんが、水頭症の子供の例では、食べ物をもらえるまで泣き続けることがあります。
- ・横行結腸あたりの痛み：痛みは急に始まり、急に終わることがあります。
 - ・盲腸炎
 - ・胆嚢炎
 - ・便秘：多くの例で直腸が乾いています。
 - ・痔

■**泌尿生殖器系**

- ・月経困難症
- ・子宮不正出血：暗赤色の血で凝血塊を伴います。
- ・卵巣の痛み、卵巣嚢胞：右側



(1)

- ・膀胱炎、腎盂腎炎
- ・精巣炎：精巣が腹部へ引っ張られるような感覚を伴うことがあります。
- ・乳腺炎
- ・更年期障害
- ・高齢出産の産褥熱予防
- ・遺尿症：うつ伏せに寝て熟睡中に起こります。

MODALITY

- ▶ **暖かい部屋、暖かく包まる**、休息、暗い部屋、まっすぐに座ること、まっすぐに立つこと、動かないこと、頭を後ろへ反らせること、頭を何かにもたれかからせることなど
- ◀ **午後3時、午後11時、運動、太陽の暑さ、隙間風**（とくに頭部に当たる場合）、散髪、洗髪、騒音、音、圧迫、横になること、光、光る物や流水を見ること、触られること、暖かい気候から急に寒くなったときなど

Belladonnaは、非常に即効性のあるレメディですので、突然発症する急性の状態によく反応します。

RELATIONS

- ・Antidotes：Camphora, Coffea, Opium, Aconite
- ・Complementary：Borax, Hepar sulphur, Mercurius, Natrum muriaticum, Calcarea carbonica
- ・Incompatible：Aceticum acidum

●**主なナス科のレメディ**

Capsicum, Duboisinum, Dulcamara, Lycopersicum, Mandragora, Physalis alkekengi, Solanum arrebenta, Solanum carolinense, Solanum integri, Solanum mammosum, Solanum nigrum, Solanum oleraceum, Solanum pseudocapsicum, Solanum torvum, Solanum tuberosum aegrotans, Solanum tuberosum, Solanum xanthocarpus, Solanum aceticum, Stramonium